別紙

I. 事業評価総括表(令和3年度) (単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施 設に係、維 整備、維 持補修 は は 等 措置	クリーンセンター 管理運営事業	瑞浪市	290, 056, 140	259, 078, 564	

Ⅱ. 事業評価個表(令和3年度)

番号	措置名				交	付金事業の名称					
1	公共用施設に係 維持補修り 維持運営等	又は		クリーンセンター管理運営事業							
交付金	事業者名又は間接	安交付金事業	美者名	者名 瑞浪市							
交付金事業実施場所					瑞浪市						
交付金	主事業の概要	び燃料費12 瑞浪市クリ ために管理	2か月分、電 ーンセンタ ほ・運営を行	髱気料11か ヌー (可燃! テうととも	月分。 物焼却施設) こ、長寿命化	については、可	却施設)の管理運営る燃ごみを適正に処理した、地球環境負荷軽減	していく			
都道府	事業に関係する 「県又は市町村の 「策・施策とその	第6次瑞浪基本方金 1. 循環 (1)	†2:安全・ 社会 可燃物焼き 安定的かつ	(平成26年 安心で人と 即施設及び ○安全に処っ	度~令和5年 地球にやさ 不燃物最終処	しいまち〜生活術 4分場を適切に管	看環∼ 理・運営し、ごみを				
事業開	始年度		令	介和3年度	事業終了	(予定) 年度		令和3年度			
事業期	間の設定理由			•		_					

-	5	成果目標	成果指標	3	単位	評価年度			令和4年度
ď			可燃ごみの 年間処理量	成果実績	トン	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	10, 115		
		可燃ごみの 年間処理量 10,300トン 以下	(トン): 令和3年度中 に混合焼却 施設にて処	目標値	トン		10, 300		* 9 ** **
	交付金事業の成果目標	^ ·	理した可燃 ごみの量	達成度		=	98. 2%	781	
	及び成果実績	評価年度の設定理由							
2		毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度に評価を実施。							
		交付金事業の定性的な成果及び評価等							8 8
		料11か月分の 切に管理・運 引き続き環	財源を確保す 国営し、安定的 最第出前講座な	「ることがでる なごみ処理で などの啓発活動	きました を実現で 動を通	た。このこと できました。 じ、ごみの減	託料及び燃料費 により、クリー 量意識の向上を く長寿命化を実	-ンセン と図りま	/ターを適 - :す。ま
4,			2.	評価に係る質	有三者格	機関等の活用	の有無		
				н т јшт - рг 0/2	<u> </u>	#	1.4 months:		1 4-

	活動指標		単	位	令和元年度	令	和2年度	令和3年度
 交付金事業の活動指標		活動実	漬	1	12		12	12
及び活動宝徳	管理運営委託料、電気料	活動見	込 丿	1	12		12	12
	及び燃料費の充当月数	達成度	Ē		100.0%		100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費 等	令和元年度	令	令和2年度		令和34		偱	考 考
総事業費	282, 523, 489	275,	557, 62	1	290, 056,	140		
交付金充当額	248, 854, 424	260,	446, 130	6	259, 078,	564		
うち文部科学省分								
うち経済産業省分	/		446, 130	6	259, 078,	564		
交付金事業の契約の概要	E C							
契約の目的	契約の方	契約の方法			的の相手方		契約	分金額
管理運営委託料	施意契約	随意契約			(株)川崎技研 (福岡市)			70, 000
電気料	随意契約	随意契約			関西電力(株) (大阪市)			72, 324
	指名競争》	指名競争入札			東濃石油(株) (岐阜県瑞浪市)			89, 612
機械用燃料費 	指名競争》	指名競争入札			山十商事(株) (岐阜県瑞浪市)			24, 204
交付金事業の担当課室	経済部クリーンは	センター						
交付金事業の評価課室	経済部クリーンは							>

別紙 I. 事業評価総括表(令和3年度) (単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
1	公設 井 保 大 に 備 補 修 神 維 特 措 置	クリーンセンター 管理運営事業(追加分)	瑞浪市	41, 311, 694	30, 000, 000	

Ⅱ. 事業評価個表 (令和3年度)

Ⅱ. 事業評価個表(令和	13年度)	ナリケギ州のカボ							
番号 措置名		交付金事業の名称							
公共用施設に係1維持補修及維持運営等	スは	クリーンセンター管理運営事業(追加分)							
交付金事業者名又は間接	英交付金事業者名	者名							
交付金事業実施場所		瑞浪市日吉町							
	業務2人)。 不燃ごみとして排出 ており、市民一人ひ	ーンセンター職員人件費12ヶ月分(資源ごみ収集業務7人、不燃ごみ収集 出されるごみの中には、まだ分別すれば再利用できる資源が多く含まれ ひとりが「混ぜればごみ・分ければ資源」の意識を持てるよう啓発に努 みの減量化、再資源化を推進します。。							
交付金事業に関係する 都道府県又は市町村の 主要政策・施策とその 目標	第6次瑞浪市総合計画 基本方針2:安全 1.循環社会 (1)可燃物焼 安定的か	する主要政策・施策 十画(平成26年度〜令和5年度) 全・安心で人と地球にやさしいまち〜生活循環〜 焼却施設及び不燃物最終処分場を適切に管理・運営し、ごみを かつ安全に処分します。 理量:2,200トン以下(令和3年度)							
事業開始年度	-	令和3年度 事業終了(予定)年度 令和3年度							
事業期間の設定理由									

	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和4年度				
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	不燃ごみの年間処理量	成果実績	トン	1, 953				
	不燃ごみの 年間処理量 2,200トン 以下	(トン): 令和3年度中 に瑞浪市不 燃物最終処	目標値	トン	2, 200				
交付金事業の成果目標		分場にて処理した不燃 ごみの量 ば立	達成度		88.8%				
及び成果実績	評価年度の設定理由								
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度に評価を実施。								
	交付金事業の定性的な成果及び評価等								
	本交付金の活用により、クリーンセンター職員9名分の人件費12ヶ月分を確保することができました。このことにより、クリーンセンターを適切に管理・運営し、安定的なごみ処理を実現できました。 引き続き環境出前講座などの啓発活動を通じ、ごみの減量意識の向上を図ります。								
評価に係る第三者機関等の活用の有無									
評価に依る第二名機関寺の石川の月派									

	活動指標	P. I		単位	令和元年度	令	和2年度	令和3年度
六八人車米の運動地域	クリーンセンター職員	活動乳	ミ績	人月			99	100
	雇用量(雇用人数(人)		込	人月	-		99	108
41	※ 雇用期間(月))	達成	度		-		100.0%	92. 6%
交付金事業の総事業費 等	令和元年度	度		年度	令和3年度			着 考
総事業費	. *	40, 309,		952	41, 311,	41, 311, 694		
交付金充当額	-	30, 0		000	30, 000, 00			
うち文部科学省分								
うち経済産業省分	_	30	30, 000, 000		30, 000	, 000		
交付金事業の契約の概要	要						4000	f. A. ilone
契約の目的	契約のプ	方法		契約の相手方			契約	为金額
人件費	雇用	雇用		クリーンセンター職員9名		Ż	41, 311, 694	
交付金事業の担当課室	センター	1						
交付金事業の評価課室	経済部クリーン	経済部クリーンセンター						

別紙

I. 事業評価総括表(令和3年度) (単位:円)

(- 1 1/						
番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備	考
1	福祉対策 措置	義務教育修了前児医療費 支援事業	瑞浪市	60, 009, 894	45, 000, 000		

Ⅱ. 事業評価個表(令和3年度)

番号 措置名				交付金事	業の名称		
1 福祉対策指	#置			義務教育修了前界	?医療費支持	爰事業	
交付金事業者名又は間接		業者名			瑞浪市		
交付金事業実施場所			7	瑞浪市内			
交付金事業の概要	子ども・子 するため、	一育て家庭に 義務教育修	における生活 多了前までの	 安定や、近年増加 児童・生徒の医療 	1しているで 禁費(入院・ 	♪とり親家庭等の自 ・通院)を助成。 	立を支援
交付金事業に関係する 都道府県又は市町村の 主要政策・施策とその 目標	第6次瑞浪 基本 3: (1	市総 十1: で子童生ま 育手活す で対 で子童生ま で で で で で で で で で で で で で	で支え合い 接の充、 策 方 充 、 次 に ま 決 に に お に に に に れ 、 に に れ に れ に れ に れ に れ に れ に	度~令和5年度) 健やかに暮らせる。 健やかに暮らせる。 で世代への医療 性代を担う児童の 性代を担う児童の と で き で で で で で で で で で で で で で で と で り に り に り に り に り に り に り に り ら り ら り ら	助成を実施 全な育成及 0.0%以上 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	施し、家庭等におけ 及び資質の向上を図 (令和3年度)	
事業開始年度		弇	和3年度	事業終了(予定)	年度		令和3年度
事業期間の設定理由				_			

	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和4年度				
	子どもを を を す ま す ま う た だ 民 の 、 別 と り た り た り り り り り り り り り り り り り り り	市:ケ「」かそと市全× の民トうどい思らし数者 をおり、これのでは、100 をおり、100 をおり、100	成果実績	%	63. 2				
			目標値	%	70.0				
交付金事業の成果目標 及び成果実績			達成度		90. 3%				
*	評価年度の設定理由								
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度に評価を実施。								
		交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	本交付金の活用により、義務教育修了前までの児童・生徒の医療費無償化の財源を確保することができました。 引き続き義務教育修了前の児童・生徒の医療費無償化を実施することで、子育て家庭の 生活の安定と児童の健全な育成及び資質の向上を図ります。								
	評価に係る第三者機関等の活用の有無								
				4	無				

	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
 交付金事業の活動指標		活動実	績 件	32, 955	25, 553	
及び活動実績	医療費助成件数	活動見	込 件	35, 420	34, 833	
	(償還払除く)	達成月		93.0%	73.4%	84. 8%
交付金事業の総事業費 等	令和元年度	r f	和2年度	令和3年	年度	着
総事業費	65, 761, 922	55,	461, 208	60, 009,	894	
交付金充当額	58, 000, 000	44,	000,000	45, 000,	000	
うち文部科学省分	2 (*)					
うち経済産業省分	58, 000, 000	44,	000,000	45, 000,	000	
交付金事業の契約の概要	· ·				- I tom a	F II A I I I III
契約の目的	契約の力	方法	契約の相手方		契約	为金額
医療費助成	助成		義務教	育修了前までの 記童・生徒	60, 009, 894	
交付金事業の担当課室	民生部保険年金語	課				
交付金事業の評価課室	総務部企画政策	課				

別紙

I. 事業評価総括表(令和3年度) (単位:円)

(4-17	• 1 1/						
番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考	
1	公共 共用係、 整備が 接補 は等 は等 世間	常備消防運営事業	瑞浪市	251, 349, 029	235, 000, 000		

Ⅱ. 事業評価個表(令和3年度)

Ⅱ. 事業評価個表(令和	13年度)	to the traffic to the second								
番号 措置名		交付金事業の名称								
公共用施設に係1維持補修維持運営等	ては	常備消防運営事業								
交付金事業者名又は間接	交付金事業	業者名								
交付金事業実施場所		瑞浪市土岐町及び陶町水上								
	名)12ヶ月 常備消防機 ど、円滑で	(本署)及び陶町水上内(陶分署)にある常備消防機関の消防職員人件費(56月分。 月分。 機関では、職員3交代制勤務の実施や部隊編成の固定化による職員の連携強化な で安定的な常備消防の運営に努めています。また、救急救命士を含む救急隊員の 教育訓練により、応急処置等の質を向上させ救急業務の高度化に対応するととも 市民向けの各種救命講習会を開催し応急手当の普及啓発を推進します。								
交付金事業に関係する 都道府県又は市町村の 主要政策・施策とその 目標	道府県又は市町村の 大きく寄与することから、各種救命講習会を開催し応急手当の普及啓 要政策・施策とその 発を推進します。									
事業開始年度		令和3年度 事業終了(予定)年度 令和3年度								
事業期間の設定理由										

	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和4年度	
e ·	救命講習受	救命講習受 講者数:令 和3年度中に 救命講習を 受講した人 数	成果実績	人	664	
			目標値	人	2, 300	
			達成度		28. 9%	
	評価年度の設定理由					
交付金事業の成果目標	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度に評価を実施。					
及び成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金の活用により、消防署職員56名分の人件費12ヶ月分を確保することができました。このことにより、職員3交代制勤務を維持し、安定的な常備消防の運営を実現できました。 新型コロナウイルス感染症の影響により、講習の開催が難しい状況が続いているが、開催方法の見直しを行いながら、新たな対象者や、事業所等に対して講習参加の働きかけを行います。また、過去に受講された方の再受講を促進することで、各種救命講習の普及啓発活動に努めます。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無					無	

	活動指標		単位	令和元年度	令	和2年度	令和3年度	5
 交付金事業の活動指標	消防職員の雇用量	活動実	績 人月	638		643	66	_
及び活動実績	(雇用人数(人)×	活動見	込 人月	648		648	67	_
	雇用期間(月))	達成四	ŧ	98. 5%		99. 2%	98.	5%
交付金事業の総事業費 等	令和元年度	令	·和2年度	令和3年度		備考		
総事業費	239, 679, 217	243,	581, 125	251, 349, 029				
交付金充当額	230, 000, 000	230, 000, 000		235, 000, 000				
うち文部科学省分								
うち経済産業省分	230, 000, 000	230, 000, 000 230		235, 000, 000				
交付金事業の契約の概要	五 五					-form A.	A stort	
契約の目的	契約の方	契約の方法		契約の相手方		契約金額		
人件費	雇用	雇用		消防署職員56名		251, 349, 029		
交付金事業の担当課室	消防本部消防総務	 等課						
交付金事業の評価課室	消防本部消防総務	答課	F:					